

先進の安全運転支援システム

Honda SENSING



『事故に遭わない社会』の実現をめざして作りました。

Hondaが、今までの研究・開発で培ってきた技術をさらに進化させ、高機能化した先進の安全運転支援システムが「Honda SENSING(ホンダ センシング)」です。対象の位置や速度を検知するミリ波レーダーと対象の大きさや形状を識別する単眼カメラで車両前方の状況を確認。ドライバーの意思と車両の状態を踏まえた適切な運転操作を判断し、多彩な機能で、より快適で安心なドライブをサポートします。

Hondaの安全技術の自信作です!



平塚北店 青崎 剛

ココが、安心! 8つの先進機能でドライバーの安全運転をサポート!

ぶつからないために	衝突軽減ブレーキ(CMBS*1)	ぶつからないために	歩行者事故低減ステアリング
ちかつきすぎないために	ACC(アダプティブ・クルーズ・コントロール)	ふらつきがないために	LKAS*2(車線維持支援システム)
とひださないために	誤発進抑制機能	おくれがないために	先行車発進お知らせ機能
		はみださないために	路外逸脱抑制機能
		みのがさないために	標識認識機能

*1 CMBS= Collision Mitigation Brake System(衝突軽減ブレーキ) *2 LKAS=Lane Keep Assist System(車線維持支援システム) 写真はすべて作動イメージです。

Honda SENSING搭載車種ラインアップ 車種・タイプ別設定



★Honda SENSINGについて ■各機能の能力には限界があります。各機能の能力を過信せず、つねに周囲の状況に気をつけ、安全運転をお願いします。各システムは、いずれも道路状況、天候状況によっては、作動しない場合や十分に性能を発揮できない場合があります。

■衝突軽減ブレーキ(CMBS)は、約5km/h以上で走行中に自車との速度差が約5km/h以上ある前走車両や歩行者、または対向車両(二輪車や自転車等を除く)に対して衝突する可能性がある場合とシステムが判断した場合に作動し、自動的に停止または減速することにより衝突回避や衝突被害の軽減を図ります。対向車両(二輪車や自転車等を除く)と歩行者に対しては、自車が約80km/h以下で走行中の場合に作動します。

■歩行者事故低減ステアリングは、約10km/h~約40km/hで走行中に、システムが歩行者側の車線逸脱と歩行者との衝突を予測した場合に、ステアリング操作による回避を支援します。■ACCは、約30km/h~約100km/hで作動します。急なカーブや加速・減速の繰り返しが少ない、高速道路などを運転するときに使用してください。■LKAS(車線維持支援システム)は、約65km/h~約100km/hで作動します。■路外逸脱抑制機能は約60km/h~約100km/hで走行中に、路外への逸脱またはシステムが路外への逸脱を予測したとき、作動します。■誤発進抑制機能は、停車時や約10km/h以下で走行しているとき、自車のほぼ真正面の近距離に車両などの障害物があるにもかかわらず、アクセルペダルを踏み込んだ場合に、エンジンなどのパワーシステム出力を抑制し、急な発進を防止するとともに、音と表示で接近を知らせます。■先行車発進お知らせ機能は、先行車との車両間距離が約10m以内で、先行車の発進を検知しても自車が停止し続けたときに作動します。■標識認識機能は最高速度はみ出し通行禁止、一時停止、車両進入禁止の標識を認識し、マルチインフォメーションディスプレイに表示します。一時停止、車両進入禁止は約60km/h以下で作動します。自車の単眼カメラから見て、車両等の陰になった道路標識は認識することができません。 Honda SENSINGの機能は、車種・タイプにより異なる場合があります。詳しくは営業スタッフまでお問い合わせください。

小さなクルマにも安心を。

あんしんパッケージ あんしんパッケージ



シティブレーキアクティブシステム作動イメージ

衝突の危険を予測し、リスクを減らす「シティブレーキアクティブシステム」

年々交通事故が減少している原因はさまざまですが、自動車の安全性能が向上していることが大きな要因のひとつです。そこで今回は、Hondaが事故を未然に防ぐために開発した「あんしんパッケージ」をご紹介します。あんしんパッケージの機能の一つ、シティブレーキアクティブシステムは、低速域衝突軽減ブレーキと誤発進抑制機能*を兼ね備えています。約30km/h以下の前方車両との衝突の回避・軽減を、自動ブレーキで支援するとともに、前方に障害物がある状況で、アクセルペダルを踏み込んだ場合に、急発進の防止を支援します。(※誤発進抑制機能はMT車を除く)

街乗りを想定した安全装備です!



平塚北店 狭間 俊成

万一人のために、すべての席にエアバッグの安心を。

運転席用のi-SRSエアバッグシステムは、様々な体格の方の乗員保護性能の向上と、エアバッグによる衝撃力の低減を両立させています。サイドカーテンエアバッグは、クルマの側面衝突事故の際、乗員の頭部への衝撃を和らげるために、サイドウインドウ上部から飛び出してカーテンのように広がるエアバッグです。

ココが、安心! シティブレーキアクティブシステム (低速域衝突軽減ブレーキ+誤発進抑制機能*) ※MT車を除く。 車種・タイプ別設定

レーザレーダーが前方を監視!

前方車両を検知し追突を回避・軽減!

シティブレーキアクティブシステム作動イメージ

前席用i-サイドエアバッグシステム+サイドカーテンエアバッグシステム (前席/後席対応) 車種・タイプ別設定

エアバッグシステム作動イメージ 写真は機能説明のためエアバッグが展開した状態を合成したものです。 ※運転席用i-SRSエアバッグシステム&助手席用SRSエアバッグシステムは全車種標準装備です。

あんしんパッケージ搭載車種ラインアップ 車種・タイプ別設定



★シティブレーキアクティブシステムの能力には限界があります。つねに周囲の状況に気をつけ、安全運転をお願いします。低速域衝突軽減ブレーキは、約5km/h~約30km/hで走行中に前方車両に対して衝突する可能性がある場合とシステムが判断した場合に作動し、自動的に停止または減速することにより衝突回避や衝突被害の軽減を図ります。本システムは、車両(二輪車や自転車等を除く)を作動対象としています。誤発進抑制機能は停車時や約10km/h以下で走行しているとき、自車のほぼ真正面に車両などの障害物があるにもかかわらず、アクセルペダルを踏み込んだ場合に、パワーシステム出力(ハイブリッド車)またはエンジン出力(ガソリン車)を抑制することで、急な発進を防止するとともに、音と表示等で接近を知らせます。いずれも道路状況、天候状況によっては使用できない場合があります。